

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
1	須賀利	尾鷲市全体の防災計画では、避難所を建てるための用地が確保されたが、須賀利地区には避難所を立てる場所がない。仮説住宅の確保を検討してほしい。また、備蓄については、須賀利地区は孤立の可能性が高く、10日分程度の備蓄を確保できるよう検討してほしい。	<p>須賀利地区は仮設住宅の用地の確保が難しく、長期の避難生活になった場合も考慮し、用地の確保など検討していきたい。</p> <p>また、須賀利地区は孤立の可能性が非常に高く、自主防災会の補助金等を活用していただき、備蓄の確保に努めていただきたい。</p>	防災危機管理課
2	須賀利	県道202号線（須賀利～島勝間）の須賀利中学校跡からトンネルまでの間が、携帯電話の電波が届かない。事故発生時や災害時の通信確保のため、非常電話等の設置や、携帯電話の電波改善を通信事業者に働きかけてほしい。	<p>まず、事故や災害時など、非常時の連絡手段の確保については、皆さまの安全を確保する観点から重要であると考えています。そのため、衛星回線の活用などを検討しているところではあります。</p> <p>一方で、平時においては、一般的にそのサービス提供は、各通信事業者がそれぞれの事業判断に基づきカバー範囲などの整備を進めています。現状では、通信事業者の携帯サービスの中にも衛星回線が広がり始めたところであります。それらの比較検討が行われている状況であると思われます。今後、東海総合通信局などとも課題を共有するとともに通信事業者に聞き取りを行ったり、使用できる場合はそのことを周知するよう要望したいと思います。</p>	政策調整課

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
3	須賀利	カムチャツカ沖地震による津波警報が発令された際、引本トンネルを超えたところにあるゲートを閉めたという情報は紀北町だけで流された。須賀利の人にも影響があるので、お互い連携を取って尾鷲市でも関連する情報として発信できるよう改善していただきたい。	津波警報が発令された際には、安全確保のため原則としてゲートは閉鎖される運用となっております。市民の皆様には、『警報発令時はゲートが閉まるもの』とあらかじめご認識いただき、避難等の行動をとっていただきますようお願ひいたします。	防災危機管理課
4	須賀利	須賀利地区では10月からオンライン診療が試験的に行われることになった。病院のない地区については、市としても、オンライン診療についての協力をお願いしたい。	市街地から遠く、高齢化率も高い須賀利地区においては、オンライン診療の実施は、医療サービスの利便性向上が期待されます。ただし、オンライン診療を開始するには、三重県の許可や地域の医師会との調整など課題も多いことが考えられます。今後、どのような協力が可能かも含め検討したいと考えます。	福祉保健課
5	古江	ふれあいバスの乗降口の段差が高く、膝の悪い高齢者には負担となっている。乗り降りしやすいよう改善できないか。社協の買い物支援で使っているマイクロバスは乗り降りしやすい。	現在、周辺市街地を運行しているふれあいバス車両については、ワンステップバスという比較的乗降しやすいバスを使用しておりますが、バス停の環境や、バスの構造上、そのようなお声があることも承知しております。現状としては、車両変更の予定がないことから、乗降が大変な場合には、運転手による乗降補助を実施しておりますので、お声がけいただきますようお願ひいたします。	政策調整課

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
6	古江	バスとＪＲの乗継ぎ時間がずれており、数分の差で乗り継ぎできないことがある。ダイヤ調整の際に改善して利便性を高めてほしい。	公共交通におきましては、より多くの人が利用しやすく、効率的で効果的な運行体系を目指し、定期的に路線やダイヤの検討、見直しを行っております。今後も、利用状況等を分析するとともに、皆さまからいただいたご意見を集約しながら、より良い公共交通を目指してまいります。	政策調整課
7	古江	カムチャツカ沖地震の津波警報で避難したが、その後、どこの避難所に何人避難した、といった検証はされたのでしょうか。防災に対する取り組みも地域差があるので、年に1、2回でも地域住民と必要な対策の整理や情報の共有をする場を設けてほしい。	避難の実態把握につきましては、収容避難所に避難された方々の状況を中心に確認を行いました。また、地域ごとの防災対策の整理につきましても、ご要望をいただければ隨時、情報の共有や講話の場を設けさせていただいております。地域の皆様と連携して進めてまいりたいと考えておりますので、防災危機管理課までお気軽にご連絡ください。	防災危機管理課
8	古江	熊野尾鷲道路が長期間通行止め（11月～12月）で不便。夜間工事などで期間短縮を検討してほしい。生活道路として利用しているので、もっと住民の利便性を考えた工事計画を立てることはできないか。生活道路としての配慮をお願いしたい。	ご不便をお掛けして申し訳ございません。 熊野尾鷲道路の管理者は国土交通省となっておりますので、ご要望いただいた内容について建設課から伝えさせていただきます。	建設課

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
9	古江	クマの出没が多く心配している。市としてどのような対策を講じているか。	<p>本市では、クマの目撃があった場合、市ホームページや公式SNS等でクマの目撃情報を発信し注意喚起を行っております。</p> <p>また、目撃場所が集落に近い場合は、煙火によるクマの追い払いや、目撃場所付近のパトロールや、通学路の警戒など、警察・三重県・獣友会と連携し厳重な警戒を実施するほか、県に被害防止捕獲を申請し、クマ捕獲用箱罠を設置する対応を行っております。</p>	水産農林課
10	三木浦	Youtubeで議会放送を見ているが、雑音が多く、音声や画質がやや不鮮明。改善して見やすくすることで若い世代の関心も高まると思う。	<p>尾鷲市議会では、他市に先駆けて議会放送に取り組んだ経緯があるため、現在使用している放送機器は導入から年数が経っており、老朽化が進んでいます。また、エリアワンセグ放送に対応する必要があることから、映像の画質を意図的に落として配信しております、その結果、他自治体に比べて不鮮明な映像となっており、市民の皆さんにはご不便をお掛けし、大変申し訳ございません。</p> <p>機器更新が必要な時期を迎えており、市議会として改善に向けた検討を進め、よりご視聴しやすい議会放送となるよう取り組んでまいります。</p>	議会事務局

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
11	三木浦	尾鷲市の取り組みは、都市部の人たちにどれくらい認知されているか。地域の魅力を外に伝えていける人材が必要。人口減少対策として子育て施策は大切であるが、それを外へ発信し、伝えていける人や手段が今の時代には重要だと思う。	本市では、現在 X・Instagram・公式LINE など複数のSNSを活用し、幅広い世代に向けた情報発信に取り組んでいます。また、YouTubeを活用した動画発信の強化にも取り組む予定であり、現在は地域おこし協力隊〈動画・広報分野〉の募集を進めているところです。今後、隊員が着任した際には広報担当と連携しながら市の魅力や地域の取り組みを効果的に発信できる動画制作体制の整備を進めること、また尾鷲市の発信全体を俯瞰しながら民間・行政・地域の多様なプレイヤーと協力し、まち全体の情報発信の「つながり」と「仕組み」を育てていくことを目指します。引き続きSNS全体の連携を図りつつフォロワー数の増加に努め、若い世代を含めた市内外の幅広い層に選んでもらえる情報発信に努めてまいります。	政策調整課
12	三木浦	災害時に地域が孤立した場合、医療体制の確保という観点から、オンライン診療は有効な手段であると考えます。尾鷲総合病院での平時の導入が難しいとしても災害時には被災していない遠方の医療機関が診療に応じられることこそオンライン診療の強みが発揮される場面ではないでしょうか。オンライン診療の導入可能性については今後も検討を進めていただきたい。	災害時のオンライン診療の活用についてはいくつかの課題があり、通信の途絶や遅延が診療自体に大きく影響を及ぼすことや重篤な症状や救急対応が必要な場合、対応できることなどが考えられます。大規模災害におけるオンライン診療の活用方法も含め先進事例などを検証し災害時の医療提供体制について検討したいと考えます。	福祉保健課

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
13	梶賀	現在の市立図書館は少し堅い雰囲気で利用しづらいという声も聞く。子どもの遊び場と静かな読書空間を分けるなど、全国的に人が集まる図書館が注目されているが、今回の図書館改修では、そういった「新しい形の図書館」を望みます。	現在の図書館は、間隔が狭く高さのある書架を配置しているため少し暗い印象を与えており、そうしたなかで静かに読書する雰囲気が、そのような印象に繋がっていると思われます。今後、整備予定の新しい図書館は、スペースも広く、低めの書架を配置するなど、全体的に明るく開放的な空間となるよう設計しております。ラウンジやヒノキテラスなど、くつろぎのスペースも設けるなど「市民のリビングルーム」をコンセプトに、子どもからご高齢の方まで、誰もが訪れやすく、ゆっくりと読書を楽しめる空間づくりを目指して進めてまいります。	生涯学習課
14	大曾根	尾鷲総合病院の患者数が減少しており、毎年経営が厳しいと聞く。赤字への具体的対策をどのように考えているのか。	公立病院の経営状況は全国的に90%以上が赤字であるため、当院としても新規の診療報酬加算の取得や、非常勤医師の診療科の縮小、非常勤医師の宿直・待機の縮小も検討しております。 市民の皆様には診療日などでご不便をかけることもあるかもしれませんが、病院を維持するため、病院長を中心に経営改善に努めています。	総合病院

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
15	大曾根	中部電力跡地の企業誘致が長引いている。整地後の進捗が見えず、情報が少ない。現状を市としてもっと説明してほしい。	<p>大型製材工場をはじめとする複数の事業者が、事業計画の具体化に向けた検討を継続しております。事業計画の検討においては、事業の採算性を確保するための技術開発をはじめ、出資協議や複数の関係者との交渉などが生じ、ある程度の時間が必要な状況であると理解しております。</p> <p>地元説明会の開催予定などの進捗状況を伺える情報が事業者より届きましたら、市民の皆様に報告させていただきたいと考えておりますので、今暫くお待ちいただきますようお願いいたします。</p>	政策調整課
16	大曾根	矢ノ川上流部には、店舗が建ったり、インター付近に公衆トイレも整備された。尾鷲の上水道を取水するうえで問題はないのか気になっている。	水源に関する開発行為については、適宜、水道水源保護審議会長に相談しております。排水につきましては、合併浄化槽により処理されており、矢ノ川の豊富な水量により希釈されることから、問題はないとの回答をいただいております。	水道部

令和7年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

NO	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
17	大曾根	水道管や下水管の老朽化が原因で道路が陥没したという報道があったが、尾鷲市の水道管は大丈夫か。老朽化した水道管の点検や更新はどのようにになっているのか。	管路の診断につきましては、専門の業者に業務委託し、埋設管は機械を使用した聴音調査、水管橋は目視による調査を行っております。 管路の更新は耐用年数経過に応じ計画的に更新しております。	水道部
18	大曾根 向井	尾鷲総合病院の外科医が不足していると思う。手術ができないと患者が減り、病院の機能維持が難しい。循環器や整形外科など専門医の確保をお願いしたい。 また、心筋梗塞や脳卒中など、救急搬送の時間がかかると命に関わる。ドクターヘリとの連携強化や、高規格救急車の整備をお願いしたい。	現在、外科医師につきましては3名、循環器や整形外科についても医師の確保はできており、引き続き医師確保に取り組んで参ります。 また、急性心筋梗塞や脳卒中など重篤な救急患者は、三重大学医学部附属病院や伊勢赤十字病院、松阪中央総合病院などへ救急車により搬送されことになりますが、ドクターヘリが活用される場合は、救急車の段階から要請されることが多いです。 なお、今年度には松阪中央総合病院とドクターカーの協定を締結したところであり、救急搬送における連携強化に努めています。	総合病院